

○鑑賞・発表機能

舞台 (奈落)	見直し案 (当初)	見直し案 (変更後)
	<p>当初は多様な演出に対応可能とするため必要に応じて大迫り・小迫りを備えるよう検討することとしていたが、長崎ブリックホールや他都市類似施設の実績に基づき大迫りが演出に使われる頻度が低く一部の限られた演目のみ使われている実績から、大迫りが無くても多様な演出は可能であるため今回大迫りまでは備えず<u>その分大迫りの地下空間である奈落の面積を削減する。</u></p>	<p>当初は多様な演出に対応可能とするため必要に応じて大迫り・小迫りを備えるよう検討することとしていたが、長崎ブリックホールや他都市類似施設の実績に基づき大迫りが演出に使われる頻度が低く一部の限られた演目のみ使われている実績から、今回大迫りまでは備えず小迫りや切穴(※)で対応することとし、<u>その位置は舞台公演に影響のないよう慎重に検討するものとする。</u></p> <p>※切穴…人物や道具等が奈落と舞台を出入りできるように舞台の床の一部を四角に切り抜いた穴</p>
ホワイエ	<p>当初は観客の滞留空間であるホワイエとエントランスロビーをそれぞれ設けることとしていたが、改めて近年開館したホールで見られる事例にならないホワイエとエントランスロビーを一体利用することで各々の機能を確保しつつ面積を減らすことが可能となったことから、面積を削減する。</p>	<p>当初は観客の滞留空間であるホワイエとエントランスロビーをそれぞれ設けることとしていたが、改めて近年開館したホールで見られる事例にならないホワイエとエントランスロビーの一部を一体利用することで各々の機能を確保しつつ効率的な運営が可能と考えられることから、<u>来館者の動線等を考慮したホワイエとエントランスロビーの一部の適正な区分による一体利用を図ることとする。</u></p>
調光盤室 (技術諸室の一部)	<p>当初は舞台の照明はハロゲンを想定しておりハロゲンでは光を調整するための調光盤を設置する諸室(調光盤室)が必要だが、照明技術の進歩により現在はLEDでも対応可能な状況のため、<u>LEDでは不要となる調光盤室は設置しない。</u></p>	<p>当初は舞台の照明はハロゲンを想定しておりハロゲンでは光を調整するための調光盤を設置する諸室(調光盤室)が必要だが、照明技術の進歩により現在はLEDでも対応可能な状況になりつつあるため、<u>今後の技術革新の状況を踏まえて省エネ効果の高いLED照明を積極的に導入することとする。なお、その結果調光盤室は不要となるが、演出上ハロゲンが必要な場合は必要な対応を図ることとする。</u></p>

○創造支援機能

リハーサル室(小劇場) =創作・イベントルーム	見直し案(当初)	見直し案(変更後)
	当初リハーサル室のうち小劇場に必要と想定していた面積に対し、直近で他都市の類似施設を改めて確認した結果、より小さい面積でも対応できていることが確認できたため、必要面積まで面積を削減する。	当初リハーサル室のうち小劇場に必要と想定していた面積に対し、直近で他都市の類似施設を改めて確認した結果、小さい面積(ホールの主舞台と同程度の面積)でもリハーサル室(小劇場)として対応できていることから、小劇場としての利用にも十分配慮してリハーサル室(小劇場)を整備する。

○交流促進機能

エントランスロビー ※ホワイエの内容再掲	見直し案(当初)	見直し案(変更後)
	当初は観客の滞留空間であるホワイエとエントランスロビーをそれぞれ設けることとしていたが、改めて近年開館したホールで見られる事例にならないホワイエとエントランスロビーを一体利用することで各々の機能を確保しつつ面積を減らすことが可能となったことから、面積を削減する。	当初は観客の滞留空間であるホワイエとエントランスロビーをそれぞれ設けることとしていたが、改めて近年開館したホールで見られる事例にならないホワイエとエントランスロビーの一部を一体利用することで各々の機能を確保しつつ効率的な運営が可能と考えられることから、来館者の動線等を考慮したホワイエとエントランスロビーの一部の適正な区分による一体利用を図ることとする。

○その他の機能

利用者打合せ室(事務室の一部)	見直し案(当初)	見直し案(変更後)
	当初は利用者打合せ用の個室を設けることとしていたが、カウンター等で対応可能であるため、面積を削減する。	当初は利用者打合せ用の個室を設けることとしていたが、通常の利用申込受付等はカウンターで対応可能であり、個室が必要な打合せは主催者控室等の諸室を臨機応変に活用することで対応可能であるため、利用者打合せ用の個室は設けずカウンター等により対応することとする。

○共用部 ○機械室

・共用部及び機械室は、諸室全体の面積に連動して増減するため、見直しに伴う再算定を行うこととする。また、機械室は上限値で算定していたが、今回類似施設の平均値での算定に見直した再算定を行うこととする。